



# 警備会社による消防団協力事業所と水道局との災害協定を通じた取り組み

神奈川県横浜市／総合警備保障株式会社横浜支社  
／横浜市西消防団／横浜市水道局

## 1 団体概要

総合警備保障株式会社（ALSOK）横浜支社は横浜市西区に所在し、警備会社として防犯業務を主体にお客様と社会の安全安心確保のため最善を尽くしており、防災業務にも積極的に取り組み地域貢献に努めています。横浜市西消防団は横浜市西区を管内として消防団員充足率100%を持続しながら西区の安全を守る都市型消防団です。横浜市水道局は横浜市の水道事業管理者として安全で良質な水を安定して市民の皆さまに届けています。

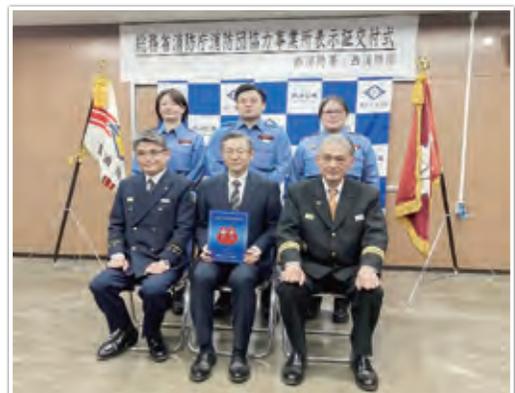
## 2 背景

横浜市西区は既成市街地地域と日本有数の巨大ターミナルである横浜駅周辺地区やみなとみらい地区などの都心部が共存し、中区の一部を含むみらい21地区は、高層オフィスビル、ホテル、複合商業施設などが建ち並び多くの観光客が訪れることから大規模災害発生時に備えて消防団の充実・強化と民間企業の地域貢献が必要不可欠です。これらの課題解決に向けて総合警備保障株式会社横浜支社と横浜市西消防団が連携して、消防団協力事業所の活動を行う他、横浜市水道局とは災害時給水所の運営協力に関する協定を締結する等、地域防災力の向上を図っています。横浜市の課題でもあった大規模災害時の応急給水の担い手として警備会社が役割を果たすこととなり

ました。

## 3 取組内容

総合警備保障株式会社横浜支社では、令和3年7月西消防団に11人が入団し横浜市消防団協力事業所として独自の研修を年2回実施し、都市型消防団として活動する西消防団の上級救命講習、車両解体救助訓練、水難救助訓練、隣接消防団との遠距離送水訓練、消防出初式一斉放水、消防団協力事業所活動発表会などに積極的に参加しています。これまでの活動実績などが評価され令和6年3月には総務省消防庁消防団協力事業所に認定されました。また、令和5年1月には横浜市水道局と災害時給水所の運営協力に関する協定締結しました。大規模災害時に多くの避難者が想定されるみなとみらい21地区には4箇所の災害用地下給水タンクが設置されており、災害時を想



消防庁消防団協力事業所表示証交付式



総合警備保障横浜支社での夜間救急研修



災害用地下給水タンクを使用した合同訓練



災害時給水所の運営協力に関する協定締結式

定した給水所運営訓練を毎年実施し連携を強化しています。災害時給水所が開設された際は、警備員が人員整理をはじめとした運営上の保安措置、応急給水の補助、夜間等における災害時給水所の警備などを行います。

#### 4 効果

総合警備保障株式会社横浜支社の消防団活動による地域貢献が進み、波及効果として総合警備保障株式会社では、川崎支社溝ノ口支店は川崎市高津消防団に14人入団し川崎市消防団協力事業所に、横浜北支社中山営業所は横浜市緑消防団に5人が入団し横浜市消防団協力事業所となり神奈川県内

グループの消防団活動の活性化につながりました。また、横浜市水道局と総合警備保障株式会社横浜支社は、毎年給水所運営訓練のほか定期的に意見交換を実施するなど顔の見える関係構築により災害に備える体制が強化され、令和5年の合同訓練ではALSOKドローンを活用した上空からの情報収集と写真記録撮影を行うなど活動の幅が広がっています。



合同訓練でのALSOKドローン活用状況